

津幡工場に太陽光発電設備を導入

当社は、サステナビリティ基本方針として、すべての事業活動において、省エネルギー、省資源、環境汚染防止、廃棄物の削減に取り組み、環境にやさしい社会の実現を推進しています。

この取り組みの一環として、このたび再生可能エネルギーの活用を図るため、津幡工場に太陽光発電設備を設置し、8月22日より稼働を開始しました。シブヤグループでの太陽光発電設備の設置は、昨年5月のシブヤパッケージングシステム株式会社の本社工場（金沢市）に続き2か所目となります。

自社所有の太陽光発電設備で発電した電力は、津幡工場で自家消費し、総電力量の約36%が太陽光発電（カーボンフリー電力）となる予定です。太陽光発電設備の容量は643.8kWで、一般家庭約170世帯分の使用電力が賄える年間約546MWhの発電量を見込んでおり、年間約273tのCO₂削減につながります。

なお、能美ハイテクプラント（能美市）にも同様に太陽光発電設備の設置を計画しており、来年中の稼働を目指しています。

— 太陽光発電設備の概要 —

所在地：石川県河北郡津幡町字旭山1番

設置場所：津幡工場 組立工場屋根

設置面積：2,965 m²

パネル枚数：1,160 枚

パネル容量：643.8kW

年間発電量：約546MWh（想定）

CO₂削減量：約273t/年



以上